いのちとくらしをまもる
防　災　減　災

令和8年4月27日18時00分
札幌管区気象台

令和8年4月20日16時53分頃の三陸沖の地震について

～「北海道・三陸沖後発地震注意情報」発表に伴う特別な注意の呼びかけ期間の終了について～

本日（４月27日）17時をもって、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」発表に伴う政府としての特別な注意の呼びかけの期間は終了しましたので、お知らせします。

○令和８年４月20日16時52分に発生した三陸沖の地震の概要や防災上の留意事項についてお知らせします。
○本日（４月27日）17時をもって、「北海道・三陸沖後発地震注意情報」発表に伴う政府としての特別な注意の呼びかけの期間は終了しました。
○しかし、政府から特別な注意を呼びかける期間が終了しても、大規模地震発生の可能性がなくなったわけではありません。
○また、先発の地震がなく、突発的に大規模地震が発生する可能性もあります。
今回の対応も活かしながら、家具の固定や避難場所・避難経路の確認など日頃からの地震への備えについては、引き続き実施してください。

本件に関する問い合わせ先：札幌管区気象台地震火山課　011-611-6125

防災上の留意事項と今後の見通し

（三陸沖の地震に関する防災上の留意事項）

- ４月20日に三陸沖で発生した地震（M7.7）後の地震活動は、当初は活発でしたが、時間の経過とともに低下し、当該地域で４月20日の地震と同程度の地震が発生する可能性は地震発生当初に比べ低くなりました。
- この３日間（４月24日から４月26日）で震度１以上を観測した地震は５回ですが、身体に感じない地震も含めると平常時より地震が多い状況が継続しており、現状程度の地震活動は当分続くと考えられます。
- なお、今回の地震活動の周辺では、「平成６年（1994年）三陸はるか沖地震」（M7.6）が12月28日に発生した後、翌年１月７日（本震から10日後）にM7.2の最大余震が発生し、被害が生じました。
- ４月20日の地震で揺れの強かった地域では、落石や崖崩れなどの危険性が高まっていますので、復旧作業などを行う場合には、地震活動や降雨の状況に十分注意してください。
- 日本国内では、いつどこで強い揺れを伴う地震が発生してもおかしくありませんので、日頃からの地震への備えを心がけてください。